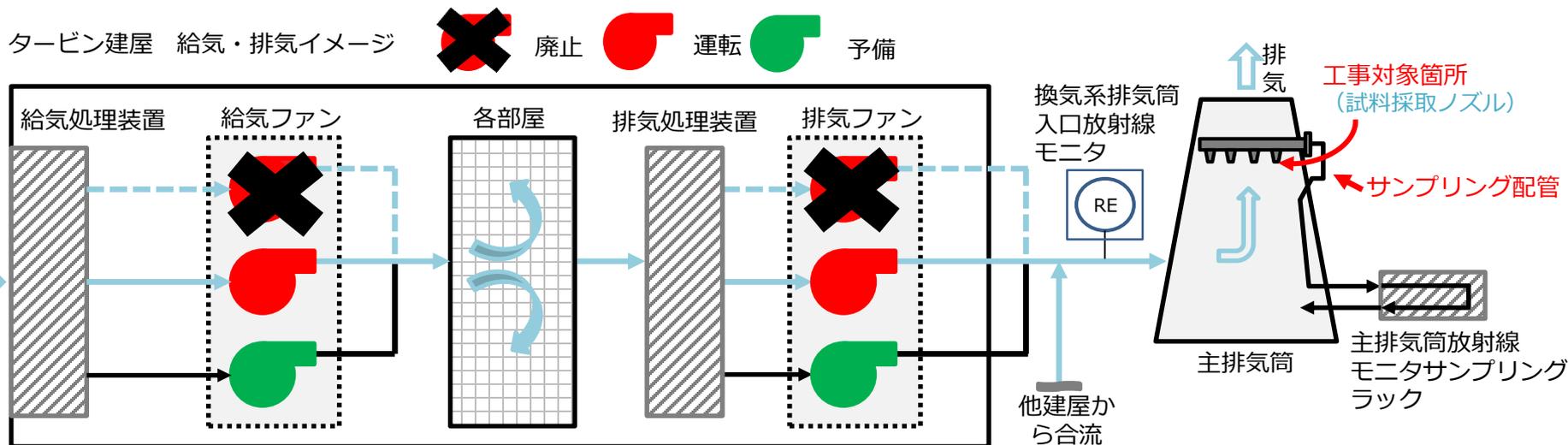


福島第二原子力発電所 1～4号機 主排気筒 試料採取ノズル取替工事に伴う排気筒モニタの欠測について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 5 年 1 月 2 7 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所

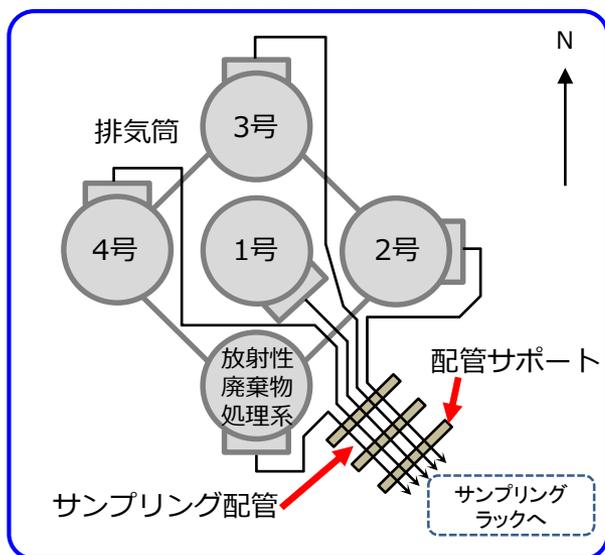
- 廃止措置を進めるにあたり、省エネや施設管理の最適化を目的として、タービン建屋換気空調系の給気ファン・排気ファンの運転台数を、現在の2台から1台に変更します。
- 変更にあたり、プラント機器・環境への影響について評価し、問題ないことを確認しております。
- 1台運転への変更により、主排気筒の風量が減少することから、主排気筒放射線モニタの試料採取ノズルを風量減少に応じたものへ取り替えます。（工事日程は以下のとおり）
 - ・2号機：2025年 1月28日～2月7日
 - ・4号機：2025年 2月12日～2月21日
 - ・3号機：2025年度下期（詳細工程調整中）
 - ・1号機：2026年度下期（詳細工程調整中）
- 工事期間中は、ホームページで公開している、排気筒モニタの測定値が欠測となるため、換気系排気筒入口放射線モニタにて代替監視を行います。



参考：工事施工中の他号機への影響

- 主排気筒放射線モニタ系のサンプリング配管は、同一の配管サポートで支持されているため、他号機のサンプリング系へ影響を及ぼす可能性があります。
- 想定として、他号機のサンプリング配管内に放射性物質が付着していた場合、工事で発生する振動等により放射性物質がはがれ落ち、主排気筒放射線モニタ系での計測や定期的な試料測定で検出される可能性が考えられます。
- このような場合においては、環境への影響はありませんが、検出された場合は速やかに原因を調査し、結果を公表いたします。
- 引き続き安全を最優先に廃止措置を進めるとともに、進捗にあわせた設備の見直しを実施してまいります。

排気筒及びサンプリング配管平面イメージ図



福島第二原子力発電所 現場概略図

